

ゆうかり

SINCE 1957

Vol.
53

平成29年
6月1日

編集・発行責任者
日野 博愛



社会体験活動に行きました☆「ひとりでお買い物できたよ♪」

社会福祉法人 ゆうかり学園

法人所在地

〒839-1216

福岡県久留米市田主丸町中尾1274-1

TEL(0943)73-0152 FAX(0943)73-0524

<http://www.yuukari.or.jp>

- ・医療型障害児入所施設・療養介護事業所
ゆうかり医療療育センター
- ・児童発達支援センター コアラ園
- ・障害者支援施設(就労継続支援B) 耳納学園
- ・障害者支援施設(生活介護) 千歳療護園
- ・障害者支援施設(生活介護) 第二千歳療護園
- ・相談支援事業所 夢の紀

節目の年に

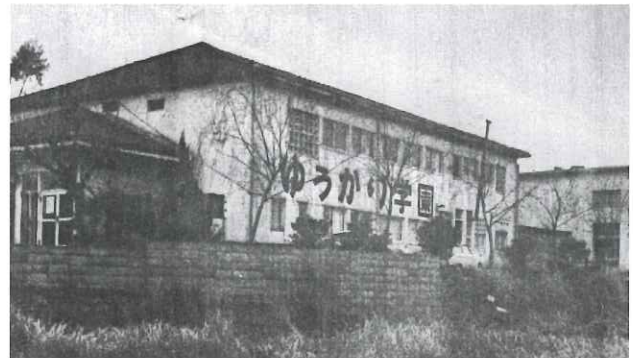
事務局長 日野 康英

1957年(昭和32年)8月13日は肢体不自由児施設ゆうかり学園が久留米市上津町に当時日本で一番小さな肢体不自由児施設(定員34名)として産声を上げた記念すべき日です。それから幾度の困難や試練に耐え続け、歳月も積み重ねること60年という節目の年になりました。人間でいうと還暦を迎えるということですね。また同時に創始者である父日野紀典の生誕100年にもあたります。

そこで本年8月18日金曜日に地域交流ホールをメイン会場として『日野紀典生誕100年を祝う会』を開催することにしています。これは、利用者様、保護者様を中心とした楽しいイベントとして準備を進めていくところです。また、9月1日には久留米市ホテルマリターレ創世にて『ゆうかり学園創立60周年記念式典・祝賀会』を開催することにしています。ここでチョットだけゆう

かり学園創設時の思い出についてお話ししたいと思えます。1957年、私が11歳、小学5年生の時でした。突然、久留米市東町(池町川添い)の家(日野医院)が売却されることになり、引っ越すことになりました。子供の中には何が何だか分かりませんでした。引越先は高良山の麓で、そこはBSの役員社宅でした。父はゆうかり学園を作るために土地や家屋敷を売ってその建築資金の一部に充てたのでした。しかし、公的補助も受けられないままだったので、それでもかなりの借金が残ったようです。BSの社宅に移ったのにもそれなりの理由がありました。父は当時の石橋正二郎BS社長に施設立ち上げを相談し、協力を仰いでいたのです。ちょうどBSの女子寮(木造)を建て替えるというタイミングであり、石橋社長よりそれを寄付するから上津町に移築したらと提案されたのでした。そして出来上がった最初のゆうかり学園が写真の建物です。ここからゆうかり学園の歴史がスタートしたわけですね。

最初の建物



そんな石橋社長との縁でBS社宅を借りることができたのも父にとっては大きな支えになったのだと思います。また、法人設立にあたっては、久留米大学常務理事の大江力氏に設立時の理事長をお願いし、設立後はBSの龍頭文吉郎氏が理事長に就任していただいたことなど、ゆうかり学園の立ち上げにはブリヂストンアイヤ株式会社、久留米大学の大きな援助があったからでした。そのことを知っている私の車のタイヤは一貫

してブリヂストン一筋であります。

そのようにしてスタートした肢体不自由児施設でしたが、法人設立は翌年の昭和33年6月7日でした。今では法人を設立してから施設の認可を受けるのが当たり前ですが、当時は施設としての実績が認められてから法人の認可申請を行ったようです。法人として成立したのちは公的又は民間の補助が受けられるようになり、共同募金や夕刊フクニチの一円玉募金等からの助成金で増築することができるようになりました。

しかし、ゆうかり学園がスタートしてからも経営基盤を安定させるまでにはかなりの苦労があったようです。父は給料日にその一部を經理の方に戻していたこともあったようでした。一方、母はそんな状況の中、嫁入り道具や着物を処分したりしながら家計をやり繰りしていたことを後から聞かされました。そんなことは露知らず、私は伸び伸びと成長し続けていたようです。

そんな草創期の苦労を私たちは決して忘れてはならないと思えます。それを歴史として語り継ぐことも重要なことだと思えます。60年という節目の年にあたり、今一度原点に立ち帰ると共に、基本理念である日野紀典が遺した言葉『福祉の原点は心である。仕事はどれだけしたかより、どんな心でしたかが大切である。』の意味を噛みしめ、これをどう実践していくのかが問われているのだと、自問自答しながら前に進んでいきたいと思えます。

本年は創立60周年と日野紀典生誕100年を祝うと共に次の10年、20年と更に継続・発展・充実していくための大きなステップを役員はじめ利用者様・保護者様と共に歩んで行きたいと思えます。『初心忘るべからず!』すべては未来のために!



こえだ物語 ④8

久留米市東部障害者 基幹相談支援センター

「誰もがその人らしく暮らしていけるように」

ゆうかり学園では昨年七月に久留米市からの委託を受け、基幹相談支援センターを開設しています。二名の職員が在籍されて、今回は代表で岡田氏にインタビューをお願いしました。

「まず、基幹相談支援センターとは、どういう役割を担っているのでしょうか。」

基幹相談支援センターは(以下、基幹センター)、平成二十八年七月に久留米市より委託を受け、市内東西南北の四つのエリアで開設されました。ゆうかり学園は東部エリアの圏域を担当地区としています。基幹センターでは、圏域にお住まいの障害のある方やその家族からのあらゆる相談を受け付け、総合的・専門的支援を行います。また、事業所を対象とした計画相談推進のための研修や地域のネットワーク作りも行っています。



久留米市東部障害者基幹相談支援センター玄関

「相談支援事業所という所もありますが、どのような違いがあるのでしょうか。」

相談支援事業所では障害のある方が福祉サービスを利用の際、相談支援専門員がサービス等利用計画を作成し、その後の利用調整や見直しを行います。久留米市内の相談支援事業所は現在二十五か所あります。基幹センターはこれらの相談支援事業所の計画相談推進のためのサポートや困難ケースなどの側面的支援を行います。



竹下氏と岡田氏。明るく楽しいお2人です！

「七月以降、実施してきたことや今後の取り組みなどを教えてください。」

まずは、地域の皆様に基幹センターを知ってもらうことが大切です。あらゆる相談対応を行うとともに、ホームページ作成、リーフレットの作成や配布、機関誌の発行を通じ取り組み内容等を発信しています。市内の相談支援事業所の相談支援専門員向けの勉強会や事業所訪問事業なども行いました。また「誰もが暮らしやすいまちづくり」のための地域生活支援協議会活動に向けたプレ会議を行ってきました。各分科会で障害者福祉、児童福祉、高齢者福祉のみならず教育・医療・労働関係者との協議を重ねていきます。また、今年度も強度行動障害支援者養成研修や基幹研修・講演会を予定しています。



事務所内の様子。さまざまな相談に対応されています。

「この仕事をされている中で、心がけていることを教えてください。」

相談の際、当事者やご家族関係機関の方々のエンパワメントの視点をもって話しを聞くこと、そのためには自分自身が元気で笑顔であることが大切だと思っています。



相談室。個室にて話しやすい環境を整え、一人一人のお話をじっくり聴かせて頂いています。

「最後に一言お願いします。」

二年目を迎え、基幹センターは地域の皆様とより近くありたいと考えています。どうぞお気軽にお声かけ、お立ち寄りください。お忙しい中時間を頂き、ありがとうございます。新しいことの立ち上げとあり、いろいろ悩まれたことや迷われたことが多かったと思います。またさまざまな相談を受けます。側として、一人一人に寄り添うことは、福祉というものにとっても大事なことであり、職員一人一人に常に求められていることだと思えます。

今日の仲間 ③6

ご入学おめでとうございませう。今年3名の利用者様が新一年生になりました。そこで一年生になつて挑戦したいことをお尋ねしました。

- 質問
- ①自己紹介をお願いします
 - ②新一年生になり挑戦したいことは何ですか？
 - ③皆さんにひとこと

「小学部」おひさま寮

武原 雫さま (6才)

- ①小学部一年生の武原雫です。皆さんからは、肌がかきれいだと言われます。だって私、若いんだもん♡
- ②なかなかできないプール遊びをしたいです。
- ③見かけたら、声を掛けてほしいです。

「中学部」なかよし寮

杉山 光輝さま (12才)

- ①杉山光輝です。中学一年生です。
- ②けん玉を挑戦したいです。勉強もがんばります。
- ③元気いっぱい楽しんで過ごします。楽しい中学生を送りたいです。宜しくお願ひします!!!

「中学部」なかよし寮

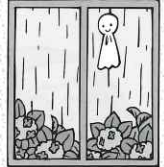
天野 凜太郎さま (13才)

- ①天野凜太郎です。遊ぶ事が好きです。特に、ゲームとマンガが好きです。
- ②今から見つけたいと思えます。
- ③よろしくお願ひします。





施設だより



— こんな楽しいことがありました —

セルフ耳納学園

「ラーメンをつくろう」▷
替え玉したくなるくらい
おいしかったあ～

いつも大好評の喫茶店♪おいしいケー
キとコーヒーで会話ははずみます。
▽



～夕食会～



△
自分たちで辛さを選んでカレー作り★

◁
サラダの盛り付けきれいに出来ました。

障害者支援センターちとせ

～初詣～

▽ 初詣に行きました～(^^)



～書初め～



△
今年の文字は・・・

～今日の活動～



◁ ポケネット。
いくつ入ったかなあ



↑ 新しい様
利用者様 ↓



古賀様です。

今ipadでゲームや音楽に夢中です。
よろしくお願いします。

車や散歩、音楽が好きです。
よろしくお願いします。

千歳第二千歳

～開園記念日～



△開園記念日に美味しいお弁当を頂きました(^^)



△
今年で90歳になりました！
これからも元気よく過ごします。

↑ 日中活動 ↓



△
射的の時間。
狙いを定めて
・・・！



◁
射的の時間は楽し
かったです！

コアラ園



～片栗粉遊び～



片栗粉遊びをしました。不思議なかんしょくだね!

おひさま寮

～節分行事～



△ 鬼は～外!! 福は～内!!

◁ 鬼さんと仲良しこよし♡

～ひな祭り～



△ かわいいお雛様とかつこいいおだいらさま

ながよし寮

～アレンジ教室～



△ アレンジ教室で、製作しました。綺麗に貼れたでしょ。

～ひな祭り～



△ お内裏様とお雛様、ふ～たり並んで、はい、チーズ。

～買物外出～

買物外出でラーメンセットを
▽ 食べました。



ともだち寮

～ドライブ外出～

▽ お雛様巡り in 豆田町



△ お雛様とお・・・!? (笑)

▽ 景色が良かったよ～!



△ 春が来たよ

温泉賛助会員の方より、大変うれしいお手紙をいただきましたので、ご紹介させていただきます。

「典心の湯」に感謝

賛助会員 吉丸 善弘

社会福祉法人ゆうかり学園の賛助会員となり、3月末で2年の歳月が過ぎようとしています。そこで、掛け流し温泉「典心の湯」にゆつたりと浸って、くつろいだ日々を思い浮かべながら、感謝の気持ちを含めて筆を執りました。拙い文章ではありますが、目を通していただければ幸いです。

「典心の湯」はゆうかり学園が田主丸町中尾の地に大規模移転された際に掘られた温泉と伺っています。地域貢献の一つとして、地域の方々へ毎週水・土曜日の午後後に開放していただいています。温泉は39度、泉質は単純温泉(低張性弱アルカリ性)浴用の適応症は神経痛・筋肉痛・関節痛・冷え性・病後回復期・健康増進などと記載されています。冷暖房完備の広い更衣室にトイレ、洗面台にはドライヤー、更に体重計に扇風機と至れり尽くせりの設備です。浴室には、大浴場・好評のサウナ・水風呂があります。体を洗いサウナ室へ、10分の砂時計を見ながら徐々に全

身から汗が、そして大粒の汗、滴る汗、もう限界です。冷水で汗を洗い流して水風呂へ、この時の爽快感はとても素晴らしいものです。更にその後、大浴場にゆつくりと浸っている間は、私にとって本場に「至福の時間」となっています。又、浴室から眺める耳納連山の四季折々の景色は、心を和ませて日々の暮らしを忘れると共に、心身の疲れを癒してくれます。

この2年間で、「典心の湯」は会員様方との交流の場にもなっています。よく使われる言葉に「男同士の裸の付き合」があります。初めの頃は挨拶だけでしたが入浴回数が増える、今では、健康づくり・食事と運動・ボランテイア・登山・釣り・旅行・野菜作り・年金や介護保険などの話題で会話がはずみ、楽しいコミュニケーションの場になっています。

昨年、私の居住区自治会主催の「敬老会」で、同じ賛助会員のO氏がチェロの演奏会を開いてくれたときは、チェロの伴奏で童謡などの合唱もありとても盛り上がった会となりました。これも「典心の湯」が取り持つ縁だと感謝しています。ところで、昨年の8月に残念なことがありました。それは更衣室に「交流の場」としてお互いに譲り合い、気持ちよ

く利用を」と、お願いが掲示されていたことですが、この趣旨に沿ってマナーを守り利用するのが、賛助会員の当然の責任だと痛感した次第です。

4月からも継続して利用します。今後とも宜しくお願い致します。ゆうかり学園の益々の発展と、スタッフの方々に感謝をし、お礼の言葉と致します。

ミュージックフェスティバル

2月5日、浮羽ライオンズクラブ主催による「第32回青少年ミュージックフェスティバル」に参加しました。今回で7回目の参加になりますが、毎年、利用者様の歌声に感動しながら演奏しています。今年も、利用者様の提案で、願いを書いた紙飛行機をA K B 48の「365日の紙飛行機」の合唱後にステージから飛ばしました。



元気いっぱい歌えたかな

毎回、利用者様の発想には驚かされ、色々な体験ができて嬉しく思っています。今後も利用者様の素敵な歌声を、たくさんの方々に聞いてもらいたいと思っています。

車椅子寄贈

2月23日、明治安田生命久留米支社様より車椅子の寄贈がありました。現在、千歳療護園の利用者様達が様々な活動の際に利用されています。大切に使用させていただきました。

善意のかずかず

いつも心温まるご厚情を賜り、感謝申し上げます。(順不同、敬称略)

西日本新聞民生事業団・太宰府ゴルフ倶楽部・植崎孝義・毎日新聞西部社会事業団

新人職員紹介

ゆうかり学園の新しい仲間をご紹介します。

井元 美月 言語聴覚士
ゆうかり医療療育センター
訓練部言語療法課

江崎 佳澄 看護師
ゆうかり医療療育センター
看護部第一課

生活部生活援助課
千歳療護園

編集後記

「、想い」とは、相手の心をおもふこと。」と誰かに言われたことがあります。

今年も新人の方が10名以上入社され、初めは戸惑いや緊張することも多いと思いますが、入社時に抱いている「想い」を胸に頑張っていたら、今年という節目であり、新たな一歩に向けて、私たちも新鮮な刺激を受けながら、一緒に頑張っていきたいと思っています。

 高岸 久男 調理師 第二千歳療護園 総務部給食課	 山口 千貴 臨床心理士 ゆうかり医療療育センター 心理療育部	 早川 共見 保育士 コアラ園	 中野 貴代子 看護師 ゆうかり医療療育センター 看護部第一課	 田中 優歌 保育士 ゆうかり医療療育センター 育成部第一課	 平木 瑠音 言語聴覚士 ゆうかり医療療育センター 訓練部言語療法課	 米倉 光司 事務員 ゆうかり医療療育センター 総務部総務課	 本多 里穂 作業療法士 ゆうかり医療療育センター 訓練部作業療法課
---------------------------------------	---	--------------------------	---	--	--	--	--

平成29年度事業計画

1、重点項目

① 創立60周年記念式典の開催

昭和32年8月13日、肢体不自由児施設ゆかり学園が久留米市上津町に産声を上げて、本年は60年という節目の年を迎えることになりました。これを記念して以下の事業を実施する。

(1) 記念誌の発刊

6月末に発刊予定(1,000部)

(2) 記念式典の開催

9月1日久留米市『ホテルマリターレ創世』にて盛大に開催する。

(3) 記念植樹

60周年を記念してユーカリの木(6本)を植樹する。なお、期日は韓国研修交流事業中の4月21日とする。

② 日野紀典生誕100年祭の実施
創始者日野紀典(大正7年2月11日生)の生誕100年を記念して8月18日、地域交流ホールにて利用者、保護者様と共に祝う会を開催する。

③ 利用者の接遇向上・職員の資質向上
法人及び各施設の安定的な経営を図るためには、利用者の接遇向上及び職員の資質向上さらには優秀な人材の確保等が必要であり、これまで以上に職員研修等の機会・充実を図ることにより、利用者本位のサービスを一層充実させることに努める。

④ 社会福祉法改正に対する対応
本年4月1日改定の社会福祉法に基づき3月1日選任・解任委員会を開催し新評議員を選任し、4月より新たな役割をもつ評議員会、理事会をスタートさせる。経営等の透明性の確保、また地域における公益的活動等法改正の趣旨に鑑み信頼される法人として更に成長していくように努力していくこととする。

上及び職員の資質向上さらには優秀な人材の確保等が必要であり、これまで以上に職員研修等の機会・充実を図ることにより、利用者本位のサービスを一層充実させることに努める。

④ 社会福祉法改正に対する対応
本年4月1日改定の社会福祉法に基づき3月1日選任・解任委員会を開催し新評議員を選任し、4月より新たな役割をもつ評議員会、理事会をスタートさせる。経営等の透明性の確保、また地域における公益的活動等法改正の趣旨に鑑み信頼される法人として更に成長していくように努力していくこととする。

⑤ 地域福祉の推進

昨年9月よりスタートした久留米市委託事業「久留米市東部障害者基幹相談支援センター」と障害者相談支援事業所夢の紀及び児童発達支援センターコアラ園を中心に短期入所・日中一時支援を含め、在宅障害児者のニーズを的確に把握しながら地域福祉の増進のために更に努力していくこととする。

2、定例事業

① 韓国瑞林福祉院との職員交流研修
韓国瑞林福祉院との交流研修事業については、4月17日から20日まで当法人より5名が瑞林福祉院にて、20日より23日まで瑞林福祉院より6名が本園にて交流研修を行う。

② 盆踊・花火大会
第31回目を迎える盆踊・花火大会を7月20日(木)、久留米市、久留米市社会福祉協議会の後援をいただき、田主丸町植木農業協同組合、福岡県緑化センターを会場として60周年記念と銘打って盛大に開催する。

③ 運動会の開催
本年も昨年同様に10月15日(日)に久留米市東部運動公園にて開催する。同じく60周年記念として実施する。

④ 耳納学園展示即売会
第11回目となるゆめタウン久留米での展示即売会を27年1月初旬に開催する。

3、その他の事業
① 防犯対策設備事業
28年度社会福祉施設等設備事業補助金の交付決定を受け、防犯カメラの増設、センサーライトの新設等の事業を総事業費3,167,856円にて実施する。

② 湯布院保養所の改築について
昨年4月の地震で被災した湯布院保養所『一洗庵』は現在使用中止の状態であり、今後速やかに改修または新築に着手し、福利厚生施設としての機能が果たせるよう再整備する。

③ 省エネに関する事項
移転以降大きな課題として電気が経費の中でかなり増大していることが挙げられる。本年度中にデマンドコントロール機器の設置及びLED照明への切り替え等を実施し、今後一層の経費節減を図ることとする。

平成28年度事業報告

1、評議員会・理事会の開催状況
平成28年5月27日(金) 第一回評議員会及び理事会
平成28年6月22日(水) 第二回評議員会及び理事会
平成28年12月9日(金) 第三回評議員会及び理事会
平成29年2月14日(火) 第四回評議員会及び理事会
平成29年3月29日(水) 第五回評議員会及び理事会

2、平成28年度心身障害児者の施設利用状況

1、評議員会・理事会の開催状況
平成28年5月27日(金) 第一回評議員会及び理事会
平成28年6月22日(水) 第二回評議員会及び理事会
平成28年12月9日(金) 第三回評議員会及び理事会
平成29年2月14日(火) 第四回評議員会及び理事会
平成29年3月29日(水) 第五回評議員会及び理事会

2、平成28年度心身障害児者の施設利用状況
本年4月1日施行(一部は28年4月1日施行済)の改正社会福祉法については、主管課である久留米市障害者福祉課と協議、連携しながら対応してきた。平成29年2月21日定款変更認可申請書を久留米市へ提出し3月28日付にて認可を受けた。

3、改正社会福祉法等に関する事項
本年4月1日施行(一部は28年4月1日施行済)の改正社会福祉法については、主管課である久留米市障害者福祉課と協議、連携しながら対応してきた。平成29年2月21日定款変更認可申請書を久留米市へ提出し3月28日付にて認可を受けた。

新評議員の選出については、3月6日評議員選任・解任委員会を開催した。委員会において審議・検討の結果、理事会案の通り新評議員選任の答申を得たので3月

新評議員の選出については、3月6日評議員選任・解任委員会を開催した。委員会において審議・検討の結果、理事会案の通り新評議員選任の答申を得たので3月

施設	施設利用状況			短期入所		日中一時支障	
	定員	延人数	充足率	実人数	延人数	実人数	延人数
ゆかり医療療育センター(医療型障害児入所)	(150)	10,427	85.1	23	493	20	453
〃(療養介護)		36,174					
コアラ園(児童発達支援)	(20)	2,651					
〃(放課後等デイサービス)	(10)	457					
〃(保育所等訪問)		18					
耳納学園(施設入所支援)	(34)	11,315	92.6				
〃(就労継続支援B型)	(40)	7,031	72.2				
千歳療護園(施設入所支援)	(40)	13,752	94.1				
〃(生活介護)	(50)	10,963	84.0		216		
第二千歳療護園(施設入所支援)	(40)	14,955	102.3				
〃(生活介護)	(40)	10,455	97.7		63		

29日開催の理事会において、4月1日付で新評議員を選任・委嘱した。また、4月1日より新たな定例評議員会(本年6月末開催予定)までの暫定理事についても同日開催の評議員会にて選任した。

6、利用者様のサービス向上に関する事項
 苦情解決委員会をはじめとする各委員会活動を通じて、利用者様のサービスの向上、並びに職員の資質向上に努めた。

7、定例事業
 ①盆踊り・花火大会の開催
 恒例の盆踊り花火大会は本年で31回目を数え、平成28年7月21日(木)、例年通り田主丸町植木農業協同組合、福岡県緑化センターを会場として開催した。危ぶまれた天候も当日には開催できるようになり、水縄小学校の水縄太鼓やエスクールのキッズダンス等の出演で盛り上がり、花火も年ごとに豪華になってきて、利用者様はもとより地域の皆様にも盆踊り花火大会を堪能していただいた。

②運動会の開催
 本年は平成28年10月16日(日)、昨年に続き久留米市東部運動公園で、開催予定であったが、当日は無情の雨となり、止むを得ず中止とした。中止の場合に備えて、ゆかり医療療育センターでは各寮毎にお楽しみ会として室内に変更して行う計画を立てていたが、感

4、社会福祉施設等施設整備事業
 平成28年度久留米市社会福祉施設等施設整備事業として外部からの不審者の侵入に対する防犯体制を強化し、入所者等の安全を確保する目的で補助金申請を行った。整備予定内容は、防犯カメラ、センサーライト設置工事及び防犯フィルム納入で総事業費3,167,856円(市補助金2,375,000円、施設負担792,856円)である。

5、賛助会員の状況

今年度の加入状況は個人会員84名及び5団体であった。また、温泉利用者数は延2,818名、1日

染症の関係でそれも出来ず残念な結果であった。千歳療護園・第二千歳療護園では施設内の食堂や廊下を使い、プログラムに添ってミニ運動会を実施した。最後には利用者・職員合同リレーで盛り上がり楽しい時間を過ごした。耳納学園ではレクリエーションとして映画会を開催した。

③韓国瑞林福祉院との職員交流研修事業
 本年は4月14日の出国時に当法人より5名が瑞林福祉院を訪れ17日まで有意義な交流研修を行った。なお、瑞林福祉院からの訪問は熊本地震により中止となった。

④耳納学園展示即売会
 第10回目となる恒例の展示即売会を本年度は1月7日(土)から9日(祝)まで『ゆめタウン久留米ウエストコート』にて開催した。今までより1日少ない期間での展示即売会であったが、昨年と同じ売上が達成できた。

8、職員研修事業(園内)
 ①外部講師による人権研修
 ②新任職員研修

9、委員会活動
 苦情解決委員会ははじめ各委員会活動を活発に行ってきた。

平成28年度本法人の決算状況
 (平成29年3月31現在)

	予算	決算
事業活動収入計(1)	2,185,996,114	2,192,064,203
事業活動支出計(2)	2,129,141,154	2,080,818,256
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	56,854,960	111,245,947
施設整備等収入計(4)	0	0
施設整備等支出計(5)	555,844,500	553,108,823
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-555,844,500	-553,108,823
その他の活動収入計(7)	320,404,900	44,696,040
その他の活動支出計(8)	326,971,510	51,010,247
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-6,566,610	-6,314,207
予備費(10)	457,926,114	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	-963,482,264	-448,177,083
前期末支払資金残高(12)	963,482,264	963,482,264
当期末支払資金残高(11)+(12)	0	515,305,181

資産・負債の内訳	金額
I 資産の部	
1. 流動資産合計	623,912,934
2. 固定資産合計	4,058,542,358
資産合計	4,682,455,292
II 負債の部	
1. 流動負債合計	293,999,110
2. 固定負債合計	787,331,039
負債合計	1,081,330,149
差引純資産	3,601,125,143

資産の部		負債の部	
流動資産	613,912,934	流動負債	283,999,110
固定資産	4,013,842,358	固定負債	742,631,039
基本財産	3,362,941,722	負債の部合計	1,026,630,149
その他の固定資産	650,900,636	純資産の部	
		基本金	97,640,890
		国庫補助金等特別積立金	1,303,497,487
		その他の積立金	294,534,471
		次期繰越活動増減差額	1,905,452,295
		(うち当期活動増減差額)	-28,242,076
		純資産の部合計	3,601,125,143
資産の部合計	4,627,755,292	負債及び純資産の部合計	4,627,755,292

	当年度決算
サービス活動収益計(1)	2,179,471,804
サービス活動費用計(2)	2,215,453,289
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	-35,981,485
サービス活動外収益計(4)	12,800,802
サービス活動外費用計(5)	4,916,147
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	7,884,655
経常増減差額(7)=(3)+(6)	-28,096,830
特別収益計(8)	0
特別費用計(9)	145,246
特別増減差額(10)=(8)-(9)	-145,246
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	-28,242,076
前期繰越活動増減差額(12)	1,940,039,457
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	1,911,797,381
基本金取崩額(14)	0
その他の積立金取崩額(15)	44,696,040
その他の積立金積立額(16)	51,041,126
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	1,905,452,295